

1) どちらの方が多し?と問う。「大きい」と「多い」の言  
葉の違いを印象づけること。  
2) 左右の絵を1対1対応の線でつなぎ、残りを円で囲む。  
3) 不等号 < , > を用いて多少関係を表す。  
a) 多い少ないを1対1対応の操作を通して理解させていく。  
b) 大きい・小さいと「多い・少ない」の分化と統合は、課題  
を進めるうちに次第に理解していく。  
c) 不等号による表現形式になりむ記号体験。

評  
Note  
Date /

どっちが おおい?

